

問題別調査結果 [国語]
東松山市教育委員会一生徒

黄色塗の部分は成果

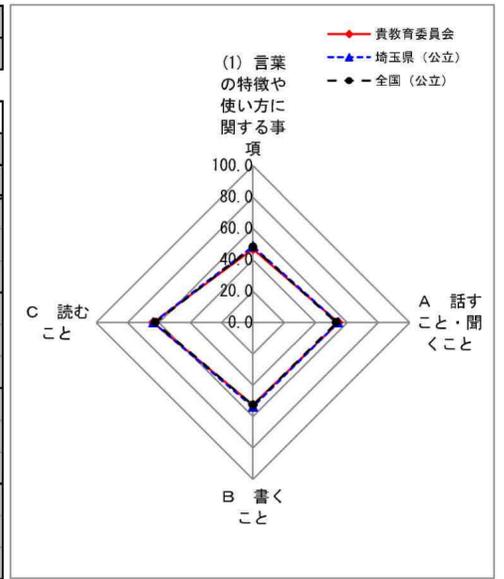
赤色塗の部分は課題

集計結果

対象生徒数		東松山市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
		672	52,519	870,560

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体			55	55	54.3
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	46.9	48.5	48.1
		(2) 情報の扱いに関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	4	54.4	54.3
		B 書くこと	5	52.6	53.7
		C 読むこと	3	63.6	63.6
評価の観点	知識・技能	2	46.9	48.5	
	思考・判断・表現	12	56.0	56.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	8	64.7	64.8	
	短答式	2	74.9	74.0	
	記述式	4	24.5	26.6	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			知識及び技能					貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	(2) 情報の扱いに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項								
1一	変換した漢字として適切なものを選択する (かいしん)	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる	2ウ			○	○	34.8	36.3	35.2	0.0	0.2	0.2
1二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したのとして適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				○	○	83.5	82.8	82.5	0.0	0.1	0.2
1三	ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したのとして適切なものを選択する	書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考慮することができるかどうかをみる				○	○	64.3	64.1	63.3	0.3	0.5	0.5
1四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				○	○	29.0	31.5	31.0	0.7	1.3	1.6
2一	スライドを使ってどのように話しているのかを説明したのとして適切なものを選択する	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				○	○	38.2	38.6	38.1	0.0	0.3	0.3
2二	聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したのとして適切なものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				○	○	81.8	79.4	77.9	0.0	0.2	0.3
2三	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したのとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる				○	○	75.3	75.2	73.4	0.1	0.6	0.6
2四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				○	○	22.3	24.0	23.2	2.4	3.2	4.0
3一	物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したのとして適切なものを選択する	表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる				○	○	80.7	81.7	80.0	0.3	0.4	0.5
3二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる				○	○	92.4	90.7	89.9	2.7	3.3	4.0
3三	「しきりと」の意味として適切なものを選択する	事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる	1ウ			○	○	58.9	60.6	61.0	0.6	0.7	0.8
3四	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそう考えた理由を書く	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる				○	○	17.7	18.3	17.1	22.8	25.0	28.1
4一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見つけて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				○	○	57.3	57.3	57.3	34.4	33.2	33.5
4二	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				○	○	28.9	32.8	30.1	15.9	16.8	19.1

黄色塗の部分は成果

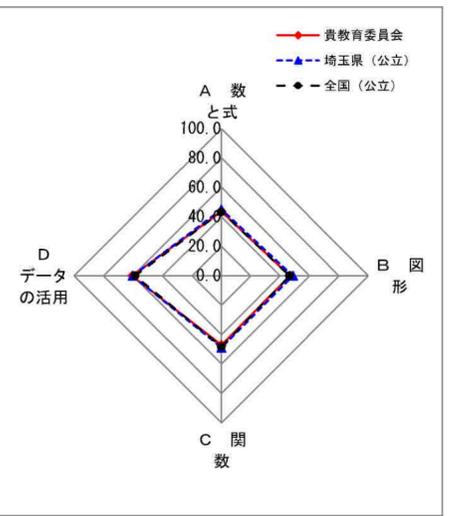
赤色塗の部分は課題

集計結果

対象生徒数		東松山市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
		674	52,507	871,097

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体			49	50	48.3
学習指導要領の領域	A 数と式	5	43.6	45.0	43.5
	B 図形	4	46.6	48.7	46.5
	C 関数	3	47.1	48.8	48.2
	D データの活用	3	60.6	60.2	58.6
評価の観点	知識・技能	9	53.9	55.7	54.4
	思考・判断・表現	6	40.5	41.0	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	52.1	56.0	54.0
	短答式	7	52.3	53.2	52.0
	記述式	5	41.0	41.3	39.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア (ア)				○	○	27.4	33.9	31.8	0.6	0.6	0.7
2	果汁40%の飲み物a mLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	1(2) ア (エ)				○	○	49.4	52.4	51.9	6.7	7.0	7.3
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる		2(1) ア (イ)			○	○	57.4	58.5	58.1	1.3	1.7	2.0
4	一次関数y = 6x + 5について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数y = ax + bについて、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる			2(1) ア (ア)		○	○	32.8	33.9	34.7	7.9	7.3	8.0
5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア (ア)	○	○	43.3	43.5	42.5	8.8	8.7	9.4
6(1)	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる	2(1) ア (イ)				○	○	66.3	65.3	62.8	2.4	3.7	4.6
6(2)	3nと3n+3の和を2(3n+1)+1と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する	式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1) イ (イ)				○	○	26.3	27.5	25.7	22.4	22.8	24.9
6(3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ (イ)				○	○	48.4	46.0	45.2	16.5	18.5	20.2
7(1)	Aの手元のカードが3枚とも「ゲー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる				2(2) ア (ア)	○	○	79.2	79.2	77.4	2.1	2.6	3.2
7(2)	Aの手元のカードが「ゲー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「ゲー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(2) イ (イ)	○	○	59.3	57.9	55.9	2.2	1.9	2.2
8(1)	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる				1(1) ア (ア)	○	○	71.1	73.2	71.9	1.8	2.2	2.3
8(2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				1(1) イ (イ)	○	○	37.5	39.3	38.0	36.5	33.4	35.0
9(1)	四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ	証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる				2(2) ア (イ)	○	○	57.7	60.9	58.5	1.2	1.0	1.1
9(2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる				2(2) イ (ア)	○	○	37.7	39.3	36.3	7.9	7.0	7.2
9(3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる				2(2) イ (イ)	○	○	33.7	35.9	33.2	28.6	29.5	31.5